



高輪だより 6月号

平成30年5月31日
港区立高輪幼稚園
園長 柿沼 敦子

高輪タイム（親子活動）に思う

園長 柿沼 敦子

紫陽花が街に鮮やかな彩りを添える頃となり、その色合いに目を奪われます。

5月12日（土）高輪タイム（親子活動）にはお家の方々が幼稚園にきてくださり、どの子どもお家の方と過ごす幼稚園の活動を「わくわく」して楽しみ、幼稚園中が「ぼかぽか」の笑顔であふれました。

親子一緒に活動を通して三つのことを保護者の皆様にお願ひしました。

- 親子で一緒に時間を大いに楽しんでいただくこと
- 園生活や活動(遊び)を知っていただき、子どもたちの学びを感じていただくこと
- 自分の子ども他の子どももそれぞれのよさを発見し、その成長を感じていただくこと

活動後のアンケートでは、『ママと一緒に今日の幼稚園が一番楽しかった。』と子どもが喜んでいました。「園での様子を見る機会となり、子どもと一緒に活動する有意義な時間でした。」「植物を種から育てる経験は素晴らしいと思う。育て、収穫して食すまでの過程で様々なことが学べる。」「タグ取りで子どもと一緒に体を動かし、それぞれの子どもたちの動きや個性を知ることができた。子どもの体力づくりに良い。学びの要素がたくさんある。」「当番活動は、しっかりルールに基づいて行われており、友だちと協力してやる姿に成長を感じました。」「我が子だけではなく子どもたちみんな、お母さんお父さんが大好きだなあという瞬間がたくさん有り、とてもうれしくなりました。」など多数ご感想をいただきました。改めて保護者の皆様の教育に対する意識の高さと幼稚園教育への深い理解に心を打たれました。

今年度、改訂された幼稚園教育要領が実施されました。その総則の第2に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」があります。健康な心と体、自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、社会生活との関わり、思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重、数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現の10項目です。これらは、園生活全体を通して総合的に育んでいきます。親子活動の内容を振り返ってみましょう。あの場面、あの活動、あの環境や教材はこれに結びつくなど思い出されることと思います。

紫陽花は、個性様々にその色彩を楽しませてくれる花です。子どもたち一人ひとりの個性もみんな違ってとても素敵です。保護者の方々とともに一人ひとりの子どもたちの豊かな育ちを目指して参ります。

5歳児 親子で作ったボールで
キャッチボール



4歳児 親子でフルーツバスケット



3歳児 親子ふれあい遊び